

GIS 互換の圃場地図を利用した 作業計画・管理支援システム

生産管理面での事務処理時間や管理コストの縮減を図る目的で、数十～数百筆の圃場を管理する担い手を対象に持続的な運用が可能な圃場生産管理支援システムを開発しました。

☆ 技術の概要

1. 本システムは、圃場地図を表示しながら、圃場毎の作付や栽培作業情報を視覚的に把握・管理するためのソフトウェアパッケージです(図1)。
2. 圃場地図には、空中写真画像や地形図画像と、GIS(地理情報システム)互換のESRIシェイプ型式を使用し、自治体等が所有している圃場地図データとの互換性を図りました。

3. 圃場そのものの情報(地名・地番、所有者、面積など)の他に、作付作物、作業計画・実績、土壌成分、収量・品質情報などをシステム内の「台帳」に入力して管理します。入力された各情報は、圃場地図上に着色表示され、視覚的に把握できます(図1)。



図1 作業計画・管理支援システムの構成と機能概要

☆ 活用面での留意点

1. 農研機構の職務作成プログラムとして著作権登録済です。Web サイトを通じたダウンロード利用が可能です。<http://www.aginfo.jp/PMS/>

詳細は近畿中国四国農研・生産支援システム研究近中四サブチーム(電話 084-923-4100)へお問い合わせ下さい。

(中央農業総合研究センター 研究管理監 寺島一男)